

政治学科-2015（平成27）年度入学生-
 国家公務員育成プログラム 卒業所要単位数

区 分		単位数	備 考
武蔵野BASIS	建学	4	仏教概説(4単位)
	健康体育	1	健康体育1(1単位)
	情報	1	コンピュータ基礎1(1単位)
	外国語	10	英語1A～1D(計4単位) 英語2A～2D(計4単位) 英語3A～3B(計2単位)
	セルフディベロップメント	6	基礎セルフディベロップメント (6単位)
	キャリア開発	3	自己の探求(1単位) キャリアデザイン(人生の歩き方)(2単位)
学科科目	学科選択	55	※ 科目詳細は履修モデル及び 開講表を確認する事
	育成プログラム(LEC講座)	44	
合 計		124	

政治学科-2015（平成27）年度入学生-

国家公務員育成プログラム開講表（国家総合職）

科目名	開講期	単位数	授業形態
【1年次】			
＜武蔵野BASIS＞			
英語1A	1学期	1	週2回
英語1B	2学期	1	週2回
英語1C	3学期	1	週2回
英語1D	4学期	1	週2回
基礎セルフ（6単位）	通年	6	2時限連続
キャリアデザイン	1学期＋集中	2	週1回
健康体育 1	前期／後期	1	週2回
仏教概説	前期／後期	4	週2回
コンピュータ基礎1	1／2学期	1	2時限連続
自己の探求	1学期	1	集中
単位数計_区分		19 単位	
＜学科科目＞			
共生原理	前期	2	週1回
経済学入門1	1学期	2	週2回
経済学入門 2	3学期	2	週2回
民法1A（総則）	前期	2	週1回
民法1B（総則）	後期	2	週1回
政治学原論 1	1学期	2	週2回
政治学原論 2	3学期	2	週2回
国際政治学基礎	3学期	2	2時限連続
日本政治論基礎	4 学期	2	2時限連続
国家公務員育成プログラム1	前期	1	隔週 1 回
国家公務員育成プログラム 2	後期	1	隔週 1 回
単位数計_区分		20 単位	
＜学内講座（育成プログラム）＞			
憲法 1	3学期	1	週2回
憲法 2	4学期	1	週2回
人文社会科学 1	1学期	1	週2回
人文社会科学 2	2学期	1	週2回
数的処理 1	前期	1	週1回
数的処理 2	後期	1	週1回
文章理解 1	前期	1	週1回
文章理解 2	後期	1	週1回
経済原論 1	後期	1	週1回
単位数計_区分		9 単位	
単位数計_学年		48 単位	
【2年次】			
＜武蔵野BASIS＞			
英語2A	1学期	1	週2回
英語2B	2学期	1	週2回
英語2C	3学期	1	週2回
英語2D	4学期	1	週2回
単位数計_区分（A）		4 単位	
＜学科科目＞			
ミクロ経済学 1	1学期	2	週2回
ミクロ経済学 2	2学期	2	週2回
ミクロ経済学 3	3学期	2	週2回
ミクロ経済学 4	4学期	2	週2回
マクロ経済学 1	1学期	2	週2回
マクロ経済学 2	2学期	2	週2回

科目名	開講期	単位数	授業形態
マクロ経済学 3	3学期	2	週2回
マクロ経済学 4	4学期	2	週2回
民法 2 A (物権)	1学期	2	2時限連続
民法 2 B (担保物権)	2学期	2	2時限連続
民法 3 A (債権各論)	1学期	2	週2回
民法 3 B (債権各論)	2学期	2	週2回
民法 4 A (債務総論)	3学期	2	週2回
民法 4 B (債務総論)	4学期	2	週2回
公共政策論 1	3学期	2	週2回
公共政策論 2	4学期	2	週2回
政治学史 1 (※2年次学外受講生は履修せず)	3学期	2	週2回
政治学史 2 (※2年次学外受講生は履修せず)	4学期	2	週2回
国家公務員育成プログラム3	前期	1	隔週 1回
国家公務員育成プログラム4	後期	1	隔週 1回
プレゼミ	1学期	2	週1回
ゼミナール1	後期	2	週1回
単位数計_区分 (B)		42 単位	
<学内講座 (育成プログラム) >			
行政法1	3学期	1	週2回
行政法2	4学期	1	週2回
経済原論2	前期	1	週1回
経済原論3	後期	1	週1回
数的処理3	前期	1	週1回
数的処理4	後期	1	週1回
民法1	1学期	1	週2回
民法2	2学期	1	週2回
単位数計_区分 (C)		8 単位	
<学外講座 (育成プログラム) _選抜者のみ>			
憲法 3		2	週2回
民法 1		2	週2回
行政法 1		1	週1回
刑法 1		2	週1回
商法 1		2	週1回
数的処理3		1	週1回
単位数計_区分 (D)		10 単位	
単位数計_学年<学内のみ> (A+B+C)		54 単位	
単位数計_学年<学内あり> (A+B+D)		56 単位	
【3・4年次】			
<武蔵野BASIS>			
英語3A	1学期	1	週2回
英語3B	2学期	1	週2回
単位数計_区分		2 単位	
<学科科目>			
ゼミナール3 (4年)	前期	2	週1回
民法 5 A (親族法)	1学期	2	週2回
民法 5 B (親族法)	2学期	2	週2回
ゼミナール2	後期	2	週1回
ゼミナール4 (4年)	後期	2	週1回
行政法 1 (総論①)	3学期	2	週2回
行政法 2 (総論②)	4学期	2	週2回
現代政治理論 1	3学期	2	週2回
現代政治理論 2	4学期	2	週2回
単位数計_区分		18 単位	
<総合職コース・一般職コース共通>			
数的処理5	H29.4~H29.7	2	-

科目名	開講期	単位数	授業形態
世界史	H29.9	1	—
地理	H29.12~H30.1	1	—
日本史	H30.2~H30.3	1	—
文章理解	H29.10~H29.2	6	—
化学			—
生物			—
地学			—
物理			—
数学			—
思想			—
単位数計_区分			11
<総合職コース_専門試験対策>			
憲法（総合）3	H29.5~H29.6	2	
民法（総合）3	H29.6~H29.9	5	
行政法（総合）2	H29.9~H29.10	3	
経済原論（総合）2	WEB実施	—	
経済原論（総合）1		—	
財政学（総合）2		—	
財政学（総合）1		—	
商法（総合）		—	
刑法（総合）		—	
労働法（総合）		—	
国際法（総合）		—	
<国家総合職_2次試験対策>			
論点講義	WEB実施	—	—
官庁訪問	WEB実施	—	—
<国家総合職_法律職ゼミ>			
1次試験専門・教養	H29.10~H29.12	3	—
2次試験専門・教養	H30.2~H30.4	3	—
2次試験記述	H30.5		
単位数計_区分		16 単位	
単位数計_学年		47 単位	
単位数計_プログラム（3年次より学外）		149 単位	
単位数計_プログラム（2年次より学外）		151 単位	

各年次終了時に継続可否審査を実施します。奨学金の継続には以下の基準をすべて満たす必要があります。

- ① 単年度におけるGPAが2.5以上であること。
- ② 2年次までに法学検定ベーシック（基礎）合格、3年次夏までに経済学検定EREミクロマクロのBランクを取得すること。
- ③ 1年次2月における警察官公開模試の文章理解・数的処理の合計得点が同科目の全国平均の合算値以上、2年次2月における一般職一公開模試の教養偏差値が45以上であること。
- ④ 担当教員との面談により、意欲・出席状況・小テスト等を確認の上、奨学金継続が適当と認められること。

<<注意事項>>

- ・面談についてはコース担当教員及びエグゼクティブ・スカラシップ・プログラム対象科目担当教員で実施する。
- ・各年次生の面談については3月に実施する。
- ・各年次生のGPAの算出については2月末日までに終了した科目を対象とする。
- ・継続の判定については成績判定後に実施し、継続不可の者については成績判定後1カ月以内に通知する。

政治学科-2015（平成27）年度入学生-

国家公務員育成プログラム開講表（国家一般職・地方上級職等）

科目名	開講期	単位数	授業形態
【1年次】			
＜武蔵野BASIS＞			
英語1A	1学期	1	週2回
英語1B	2学期	1	週2回
英語1C	3学期	1	週2回
英語1D	4学期	1	週2回
基礎セルフ（6単位）	通年	6	2時限連続
キャリアデザイン	1学期＋集中	2	週1回
健康体育 1	前期／後期	1	週2回
仏教概説	前期／後期	4	週2回
コンピュータ基礎1	1／2学期	1	2時限連続
自己の探求	1学期	1	集中
単位数計_区分		19 単位	
＜学科科目＞			
共生原理	前期	2	週1回
経済学入門1	1学期	2	週2回
経済学入門 2	3学期	2	週2回
民法1A（総則）	前期	2	週1回
民法1B（総則）	後期	2	週1回
政治学原論 1	1学期	2	週2回
政治学原論 2	3学期	2	週2回
国際政治学基礎	3学期	2	2時限連続
日本政治論基礎	4 学期	2	2時限連続
国家公務員育成プログラム1	前期	1	隔週 1 回
国家公務員育成プログラム 2	後期	1	隔週 1 回
単位数計_区分		20 単位	
＜学内講座（育成プログラム）＞			
憲法 1	3学期	1	週2回
憲法 2	4学期	1	週2回
人文社会科学 1	1学期	1	週2回
人文社会科学 2	2学期	1	週2回
数的処理 1	前期	1	週1回
数的処理 2	後期	1	週1回
文章理解 1	前期	1	週1回
文章理解 2	後期	1	週1回
経済原論 1	後期	1	週1回
単位数計_区分		9 単位	
単位数計_学年		48 単位	
【2年次】			
＜武蔵野BASIS＞			
英語2A	1学期	1	週2回
英語2B	2学期	1	週2回
英語2C	3学期	1	週2回
英語2D	4学期	1	週2回
単位数計_区分		4 単位	
＜学科科目＞			
ミクロ経済学 1	1学期	2	週2回
ミクロ経済学 2	2学期	2	週2回
ミクロ経済学 3	3学期	2	週2回
ミクロ経済学 4	4学期	2	週2回
マクロ経済学 1	1学期	2	週2回
マクロ経済学 2	2学期	2	週2回

科目名	開講期	単位数	授業形態
マクロ経済学 3	3学期	2	週2回
マクロ経済学 4	4学期	2	週2回
民法 2 A (物権)	1学期	2	2時限連続
民法 2 B (担保物権)	2学期	2	2時限連続
民法 3 A (債権各論)	1学期	2	週2回
民法 3 B (債権各論)	2学期	2	週2回
民法 4 A (債務総論)	3学期	2	週2回
民法 4 B (債務総論)	4学期	2	週2回
公共政策論 1	3学期	2	週2回
公共政策論 2	4学期	2	週2回
政治学史 1	3学期	2	週2回
政治学史 2	4学期	2	週2回
国家公務員育成プログラム3	前期	1	隔週 1回
国家公務員育成プログラム4	後期	1	隔週 1回
プレゼミ	1学期	2	週 1回
ゼミナール1	後期	2	週1回
単位数計_区分		42 単位	
<学内講座 (育成プログラム)>			
行政法1	3学期	1	週2回
行政法2	4学期	1	週2回
経済原論2	前期	1	週1回
経済原論3	後期	1	週1回
数的処理3	前期	1	週1回
数的処理4	後期	1	週1回
民法1	1学期	1	週2回
民法2	2学期	1	週2回
単位数計_区分		8 単位	
単位数計_学年		54 単位	
【3・4年次】			
<武蔵野BASIS>			
英語3A	1学期	1	週2回
英語3B	2学期	1	週2回
単位数計_区分		2 単位	
<学科科目>			
ゼミナール2	後期	2	週1回
ゼミナール3 (4年)	前期	2	週1回
ゼミナール4 (4年)	後期	2	週1回
民法 5 A (親族法)	1学期	2	週2回
民法 5 B (親族法)	2学期	2	週2回
行政法 1 (総論①)	3学期	2	週2回
行政法 2 (総論②)	4学期	2	週2回
現代政治理論 1	3学期	2	週2回
現代政治理論 2	4学期	2	週2回
単位数計_区分		136 単位	
<総合職コース・一般職コース共通>			
数的処理5	H29.4~H29.7	2	—
世界史	H29.9	1	—
地理	H29.12~H30.1	1	—
日本史	H30.2~H30.3	1	—
文章理解	H29.10~H29.2	6	—
化学			—
生物			—
地学			—
物理			—
数学			—

科目名	開講期	単位数	授業形態
思想			—
単位数計_区分		11 単位	
<一般職・地方上級コース_専門科目>			
憲法（一般・地上）3	H29.5～H29.6	2	
民法（一般・地上）3	H29.6 2	1	
民法（一般・地上）4	H29.6～H29.7	1	
行政法（一般・地上）	H29.9～H29.10	2	
経済原論（一般・地上）1	H29.7～H29.8	2	
経済原論（一般・地上）2	H29.8～H29.9	2	
政治学（一般・地上）	H30.2～H30.3	1	
財政学（一般・地上）	H30.1	1	
行政学（一般・地上）	H30.1～H30.2	1	
社会学（一般・地上）	H29.11	1	
経営学（一般・地上）	H29.11～H29.12	1	
国際関係（一般・地上）	H29.12	1	
刑法（一般・地上）		—	単位認定は行わないが、 目指す地方自治体 及び 専門職により履修科目が 異なる
労働法（一般・地上）		—	
労働事情（一般・地上）		—	
会計学（一般・地上）		—	
商法・会社法（一般・地上）		—	
裁事 刑法（一般・地上）		—	
裁事 刑訴/民訴（一般・地上）		—	
労基 労働事情（一般・地上）		—	
心理学（一般・地上）		—	
教育学（一般・地上）		—	
英語（一般・地上）		—	
専門記述（一般・地上）		—	
最新過去問演習（一般・地上）		—	
時事（一般・地上）		—	
教養記述（一般・地上）		—	
面接（一般・地上）		—	単位認定は行わないが、 必ず受講する事。
単位数計_区分		16 単位	
単位数計_学年		165 単位	
単位数計_プログラム		267 単位	

各年次終了時に継続可否審査を実施します。奨学金の継続には以下の基準をすべて満たす必要があります。

- ① 単年度におけるGPAが2.5以上であること。
- ② 2年次までに法学検定ベーシック（基礎）合格、3年次夏までに経済学検定EREミクロマクロのBランクを取得すること。
- ③ 1年次2月における警察官公開模試の文章理解・数値処理の合計得点が同科目の全国平均の合算値以上、2年次2月における一般職一公開模試の教養偏差値が45以上であること。
- ④ 担当教員との面談により、意欲・出席状況・小テスト等を確認の上、奨学金継続が適当と認められること。

《注意事項》

- ・面談についてはコース担当教員及びエグゼクティブ・スカラシップ・プログラム対象科目担当教員で実施する。
- ・各年次生の面談については3月に実施する。
- ・各年次生のGPAの算出については2月末日までに終了した科目を対象とする。
- ・継続の判定については成績判定後に実施し、継続不可の者については成績判定後1カ月以内に通知する。